

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年6月30日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部地域行政学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: オレゴン大学 現地言語: University of Oregon
留学期間	2018年9月～2019年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Planning, Public Policy and Management <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年6月21日
明治大学卒業予定年	2021年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月下旬～12月上旬 2 学期:1月上旬～3月下旬 3 学期:4月上旬～6月中旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	1876
創立年	22,760

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	6000	660,000円	
食費	2700	297,000円	
図書費	900	99,000円	
学用品費	100	11,000円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	3400	374,000円	形態:明治大学とオレゴン大学の両方加入
渡航旅費	1600	176,000円	
雑費	1000	110,000円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	<b>157,000</b>	<b>17,270,000円</b>	

## 渡航関連

**渡航経路:** 往路: 成田ーシアトルーユージーン 復路: ユージーンーサンフランシスコーホノルルー成田

渡航費用

チケットの種類	通常
往路	80,000
復路	80,000
合計	160,000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

スカイスキナー

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

最初の2ヶ月は寮。その後アパートへ引っ越した。

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 )

3)住居を探した方法:

Facebook

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮よりアパートをお勧めする

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会がなかった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

国際事務室のパウロさん

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険な事件があった場合、大学からメールやSMSが送られてくる。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学にいるときは、学校のWi-Fiを大きな問題なく使ってた。Wi-Fiも携帯もよほど田舎に行かない限り繋がった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地でUSBankの口座を開設し、そこへ親から送金してもらった。学費とアパート代以外は基本的にはクレジットカードを使用していた。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本食。自炊するのであれば、日本の調味料。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
航空業界
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
周りに流されず、自分がやりたいことや好きなことをやるべきだと強く思うように変化した。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 現在申請中 27 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
World History: Antiquity to 1500	歴史学
科目設置学部・研究科	HIST
履修期間	Fall
単位数	4
本学での単位認定状況	現在申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+discussion (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が discussion 含め 4 回
担当教授	Andrew Goble
授業内容	1500 年以前の歴史学。有名な文明や帝国について中心に学ぶ。
試験・課題など	中間、期末テスト+term paper
感想を自由記入	テストの半分は 800 字程度の essay で、テストの日までに完成させなければならなかった。その為、2500 字の term paper と合わせると、わずか 10 週間で 3 本のエッセイを仕上げるという量のライティングをこなさなければならなかった為、非常に大変だった。内容は高校で世界史を履修していれば簡単なものだったが、とにかくリーディングとライティングに苦労した。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Human Geography		地理学	
科目設置学部・研究科	GEOG		
履修期間	Fall		
単位数	4		
本学での単位認定状況	現在申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+discussion(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80+50 分が 2+1 回		
担当教授	Shaul Cohen		
授業内容	人間の行動や心理がどう文化を形成し、地理を形成していくか学ぶ。文化人類学と社会学と地理学を合わせたような内容。		
試験・課題など	中間、期末テスト+エッセイ 2 本+毎日 New York Times の記事を最低 3 本読み、要約と感想を書く。		
感想を自由記入	答えのない内容が多く難しかった。この授業も宿題が多く、特に New York Times の宿題は毎日ある為、苦しかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to City Planning		都市計画	
科目設置学部・研究科	PPPM		
履修期間	Fall		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+discussion (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80+50 分が 2+1 回		
担当教授	Rebecca Lewis		
授業内容	アメリカの街がどのように形成されていったのか(されているのか)を学ぶ。歴史、交通、環境、テクノロジーなど幅広い分野を学び、そこからどのように都市が出来上がるかを学ぶ。		
試験・課題など	中間、期末テスト+ エッセイ 4 本		
感想を自由記入	今回の留学で一番好きだった授業。先生や授業の雰囲気は普通だったが、扱っている内容が今まで知らないことだらけで、アメリカ独特の街並みがどう出来上がったのか理解できて非常に面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intoduction to the Nonprofit Sector		非営利組織	
科目設置学部・研究科	PPPM		
履修期間	Winter		
単位数	4		
本学での単位認定状況	現在申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+discussion(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80+50 分が 2+1 回		
担当教授	Dyana Mason		
授業内容	非営利組織の役割や重要性を学ぶ		
試験・課題など	中間、期末テスト+エッセイ 2 本		
感想を自由記入	アメリカの NPO の役割は日本の比にならないくらい重要であり、日本では学べないような内容。ただ、出てくる例がアメリカの NPO ばかりで、知らない私にとっては若干苦しかった。		

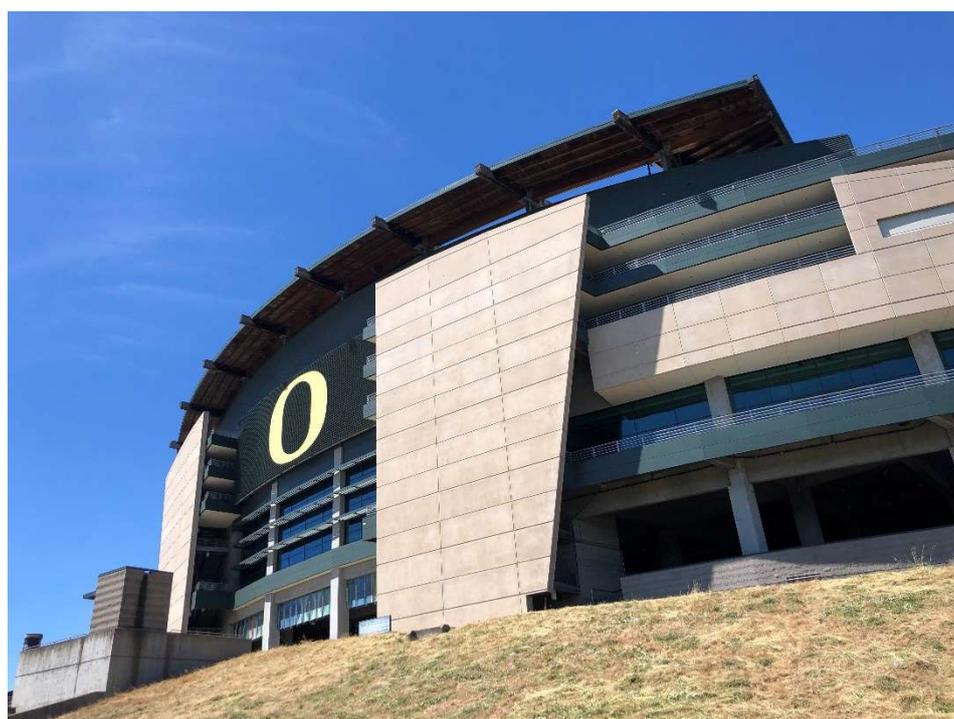
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction of Public Policy	行政学
科目設置学部・研究科	PPPM
履修期間	Winter
単位数	4
本学での単位認定状況	現在申請中 2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+discussion(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80+50分が2+1回
担当教授	Benjamin Clark
授業内容	主にアメリカの行政や政治がどう動いているのかを学ぶ。
試験・課題など	中間、期末テスト
感想を自由記入	授業自体は可もなく不可もなくという感じ。ただ、アメリカの政治を学ぶにあたっての基礎知識は身に付く。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Media and Society	メディア
科目設置学部・研究科	J
履修期間	Winter
単位数	4
本学での単位認定状況	現在申請中 2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Bish Sen
授業内容	アメリカのメディアの歴史。
試験・課題など	中間テスト2回、期末テスト1回+エッセイ1本
感想を自由記入	単位を取るだけなら非常に簡単。知らないことを多く学ぶことができたが、あまりお勤めはしない。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Transportation Policy	交通政策、交通理論
科目設置学部・研究科	PPPM
履修期間	Spring
単位数	4
本学での単位認定状況	現在申請中 2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Anne Brown
授業内容	アメリカの公共交通機関や道路がどう発展し、これからどう発展していくのかを学び、交通に関する問題の解決法を探る。
試験・課題など	期末テスト(プレゼン)+Paper 2本
感想を自由記入	400番台のクラスだったが、特別難しいというわけではなかった。日本とアメリカの公共交通機関の問題点の違いが多く学べ、後半は、電気自動車や e-scooter などアメリカらしい問題を詳しく学べたので面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Business		ビジネス基礎	
科目設置学部・研究科	BA		
履修期間	Spring		
単位数	4		
本学での単位認定状況	現在申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 110 分が 2 回		
担当教授	Tom Durant		
授業内容	ビジネスの基本中の基本を学ぶ。		
試験・課題など	テスト 3 回		
感想を自由記入	普段からビジネスや経済のことを気にしていれば非常に簡単。ただ、決算書の読み方なども学ぶので、商学や経営学初心者には役に立つと思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Global Perspective in Business		国際ビジネス	
科目設置学部・研究科	BA		
履修期間	Spring		
単位数	4		
本学での単位認定状況	現在申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 110 分が 2 回		
担当教授	Farhad Malekafzali		
授業内容	ビジネスというよりも、社会問題を学ぶ。ビジネスを行う上で知っておくべきでない、環境問題や格差問題などについて理解を深める。		
試験・課題など	テスト 3 回+プレゼン		
感想を自由記入	最初はビジネスを学びたくて履修したため、少し残念。ただ、様々な社会問題をより広いグローバルな視点で見られたので、International Studies に興味がある私には適していたと考える。グループでのプレゼンがある為、能動的に動く機会が今まで以上にあり良かった。		



### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	入学 学部主催の国際プログラムに積極的に顔を出す。
8月～9月	IELTS 受験準備
10月～12月	IELTS 受験、留学出願
2018年 1月～3月	明治大学から留学許可を貰う。 ベトナムへ短期留学
4月～7月	オレゴン大学から受け入れ許可を貰い、ビザ申請。
8月～9月	出発 オリエンテーションに出席。寮に入れない最初の一週間はホームステイ
10月～12月	秋学期。最初の学期ということもあり、勉強が忙しかったが、オリエンテーションで仲良くなった留学生の友達と遠出したりして勉強も遊びも充実。アメフトの試合を全試合見るほどハマった。
2019年 1月～3月	冬学期。生活に慣れてきた為、余裕を持って生活できるようになる。余った時間で読書をしたりジムへ通ったりした。
4月～7月	春学期。学校主催の国際イベントに積極的に参加。新しい友人も多くでき、秋、冬学期とは違う楽しみが増えた。6月中旬に学校が終わり、その後旅行し帰国。
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	幼少期にドイツに住んでいた経験があった為、昔から海外には興味があり、将来留学したいとずっと思っていました。また、将来が不確かなこれからの時代、一番の資本は自分自身であり、英語力や国際経験は一生ものの確定要素になると考え、大学生活を有意義にする為にも留学をするべきだと考えていました。このような思いが大学に入ってから様々な国際関係の活動に関わることでさらに強くなり、今回の留学に至りました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	やはり英語力は非常に重要です。正直、普通に授業とテストを受けて、単位を取るだけならそんなに難しくありません。学内選考の基準を満たすほどの英語力があれば何とかなります。ただ、言語の基本は口頭でのコミュニケーションであり、それができないと友達も出来づらくなってしまいます。会話の場面では即座に英語を発さなければならないので、アウトプットする力を伸ばすと役に立ちます。
この留学先を選んだ理由	オレゴン大学では、留学生でも基本的にどの授業も取ることができます。総合大学ということもあり、非常に幅広い分野の中から自分が学びたい授業を選ぶことができるということがオレゴン大学を選んだ大きな理由です。当初はアメリカならどこでもいいかと思っていたのですが、結果的にリベラルな西海岸に行くことができ、日本では見れないような最先端な技術やアイデアや考え方などを多く見られた為、西海岸で生活することができて良かったと感じています。
大学・学生の雰囲気	非常に緑豊かなキャンパスです。歴史的な建物も多く、非常に落ち着いた雰囲気と典型的なアメリカの総合大学です。晴れた暖かい日は、多くの学生が外の芝生でくつろいだり外で勉強していたりして、非常に開放的な雰囲気でした。アメフトの試合の日になると、オレゴン中から人が集まり、スタジアムの周りは非常に盛り上がります。また西海岸という土地もあり、白人の次にアジア人が多いと言えるくらい、アジア系アメリカ人やアジアからの留学生が多かったです。
寮の雰囲気	私が最初暮らしていた寮は非常に狭い二人部屋でした。また、寮費が驚くほど高いので最初の2ヶ月も経たないうちにアパートに引っ越しました。アパートであれば、個室が手に入る上、自炊もできるようになるので、落ち着いた生活を自分のペースで送ることができます。ただ、寮でもルームメイトとは仲良くなりますし、寮によっては非常に綺麗で充実したラウンジや共有キッチンもあるので、どの寮に入るかで大きく生活環境が変わると思います。
交友関係	留学生向けのオリエンテーションが一般の学生より一週間ほど早く始まるということもあり、留学生同士仲良くなりがちです。私はヨーロッパ人中心に交友関係を広げ、アメリカにいなが様々な国について学ぶ経験ができたので、非常に面白かったです。友人が車を購入した為、週末はオレゴンの自然を味わう為に遠出したり、キャンプへ行ったりして楽しんでいました。車を持っている友達を作ると生活範囲が広がるので、アメリカで留学する際は車の所有者を探してみてください。
困ったこと、大変だったこと	最初は環境の変化や英語の大変さに苦労しました。特に最初の学期は取った授業の宿題が多かったということもあり非常に忙しかったです。ただ、その忙しい生活こそ留学前に思い描いていた留学生活であり、充実感を持って生活することができたので、大変ではあったものの、その生活を楽しめてもいました。あとは、やはり日本食が恋しかったです。アメリカでも日本食はあるのですが、繊細な日本らしい味のものはないので、日本食を我慢するのが大変でした。
学習内容・勉強について	授業は特に文系の場合、基本的に講義＋少人数ディスカッションという形で進められます。ディスカッションを担当する大学院生(GE)が成績評価の大半を行うので、授業で分からないことや不安なことがあれば、このGEのオフィスアワーを活用することで、不安解決にもなりますし、評価アップにも繋がるので一石二鳥です。基本的に普段の勉強は、日本でアルバイトに使っていた時間を勉強する時間に変わったような感じなので、大変すぎてどうしようもないというわけではなかったです。むしろ自由な時間はあるので、どうオンとオフを切り替えるかが大切でした。
課題・試験について	課題の量は日本の大学と比にならないくらい多いです。特にリーディングとライティングの量には圧倒されます。ただ、リーディングに関しては、時間さえあれば終わるし、ライティングはコツさえつかめば日本語で書くのとあまり変わらないので慣れれば大丈夫です。試験はマークシートか筆記かで大きく変わってきます。筆記試験だと私たちに取っては、授業内容と英語のどちらもマスターしなければならないので準備には苦労しました。ただ、基本的には日本と同じで、コツコツ授業に出ていけば単位を落とすようなことはないですし、平均点以上の点を取ることはそんなに難しくはないです。

大学外の活動について	大学の国際団体が culture night というイベントやロードトリップを主催していました。そこに積極的に関わることで自然に友達もでき、新しい体験も経験することができました。また、ジムに頻繁に通っていました。フィットネス大国ということもあり、大学に巨大なジムがあったり、私が住んでいたアパートにもジムがついていたりして、体を鍛えるには最高の環境でした。
留学を志す人へ	今しか出来ないことをやって下さい。今はお金さえ払えば誰にでも留学することができる時代です。その中でどのように付加価値をつけることができるかが成功の鍵です。私にとってそれは、留学先でしか出来ない体験をするということでした。留学先で日本人ばかりといて、日本語ばかり話していてもせっかく留学した意味がありません。皆さんには、どんな状況においても大学生であることの意味、留学したら留学生であることの意味を考え、“今”何が大切なのかをよく考え行動してほしいと思います。皆さんのご健闘をお祈りします。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業				授業		
			授業	授業	授業		ジム
午後	授業	授業	授業	自由	ジム	アメフトなど スポーツ観戦	勉強
	勉強	授業	勉強	授業			勉強
夕刻	勉強	勉強	勉強	勉強	coffee hour (交流会)		勉強
夜	ジム	自由	ジム	自由	自由	パーティー など	勉強

